

様式第5号

出張調査報告書

令和5年2月9日

松伏町議会議長 増田 等 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 川上 力

下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	令和 5年 1月31日から令和 5年 2月 1日
2 視 察 地	(1) 長野県佐久市 (2) 群馬県高崎市 (3) 埼玉県伊奈町
3 視 察 目 的	(1) 「道の駅ヘルシーテラス佐久南」施設見学 (2) 県の制度を活用した独自の奨学金返還支援制度について (3) 高齢者等のゴミ出し支援について (4) 書かない窓口について
4 視 察 者 氏 名	川上 力 村上 真由美
5 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

出張調査報告書

党会派で行政視察を行いましたので、その結果を下記の通り報告します。

記

1. 調査年月日

令和5年1月31日（火）から令和5年2月1日（水）まで

2. 視察地及び視察目的

- (1) 長野県佐久市 道の駅「ヘルシーテラス佐久南」 見学
- (2) 長野県佐久市 木下建工(株) 県の制度を活用した独自の奨学金返還支援制度について
- (3) 群馬県高崎市 高齢者のごみ出し支援について
- (4) 埼玉県伊奈町 「書かない窓口」の見学

3. 視察者名

川上 力

村上 真由美

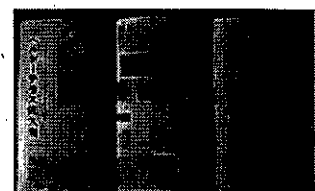
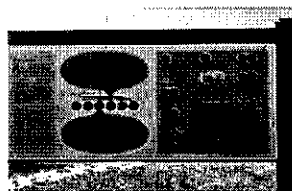
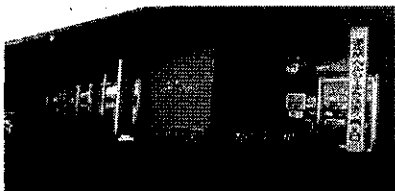
4. 行政調査日程表 別紙

5. 視察内容及び結果

(1) 長野県佐久市 道の駅「ヘルシーテラス佐久南」施設見学

2018年6月にオープン。東信州のほぼ中央の中部横断自動車道佐久南 I.C 正面に位置している。「健康長寿」をキーワードとした、地域内外の人やモノ・情報をつなぎあわせるゲートウェイ型道の駅です。重点道の駅にも選定され、災害時には、防災拠点としての役割も担います。

施設内 農産物直売所・お土産販売、郷土料理レストラン、加工体験施設（米粉を使った料理、蕎麦打ち、農家体験）、情報提供施設、授乳室、トイレ、駐車場



(2) 長野県佐久市 木下建工(株) 県の制度を活用した独自の奨学金返還支援制度について

①長野県の奨学金返還支援制度導入企業サポート事業の概要

○対象企業

・県内に本社等を置く資本金10億円未満の中小企業、NPO、社会福祉法人、公益法人等

・従業員への奨学金返還支援制度を設けていること

・以下の各種認定制度を1つ以上取得していること

県「職場いきいきアドバンスカンパニー」

国「くるみん」「ユーズエール」「えるぼし」

他

○対象従業員

・返還支援制度を創設後、採用された者（中途採用者を含む）

・雇用期間の定めのない正社員である者

・奨学金の返済においてその他の金銭的支援を受けていない者

○補助内容

・補助割合 1/2

・上限額 10万円（支援対象従業員1人あたり・年額）

・上限人数 3人（1社あたり・各年度）

・補助期間 入社した年度を含め5会計年度（支援対象従業員1人あたり）

②導入に至った経緯

長野県では、令和5年度から「奨学金返還支援制度導入企業サポート事業」を行い、導入企業を募集していると税理士より情報を聞き社長がすぐに決断、申し込みをした。

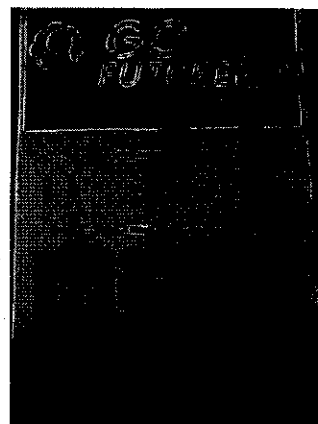
③導入の狙い

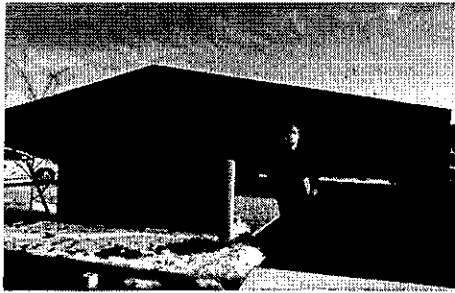
新規採用者を取りたい。採用数 3年前5人、昨年2人、今年2人

④その他

・現在、従業員の中にも奨学金返還をしている方がいる。奨学金返還支援を受けている人と受けていない人の格差が出ないようにするよう手当などの増額も考えている。

・5年後奨学金返還支援が終了後、返済が困難とならないよう昇給も考えて将来の不安を軽減するようしていく。





(3) 群馬県高崎市 高齢者のごみ出し支援について

高崎市では、高齢者ごみ出しSOS（高齢者等戸別ごみ回収）事業を行っている。

○事業開始の経緯

ごみ出しは、曜日や時間が限定され、家族や近隣住民による支援が行き届かない、ごみステーションまでの距離が遠い、ごみが重くて持っていられない等の相談が寄せられていた。このようなことを踏まえ、ごみ出し困難世帯を支援することで誰もが安心して暮らせる生活環境を実現することを目的とした事業を開始した。

○事業内容

ごみ出し困難世帯を対象に週1回の戸別訪問回収と声掛けによる安否確認

【利用できる人】

- ・70歳以上のみで構成されたごみ出し困難世帯
- ・障害を有する者のみで構成されたごみ出し困難世帯
- ・妊娠期の人及び3歳未満の乳幼児がいる世帯で家族の協力が得られずごみ出し困難世帯

【収集するごみ】

燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源物、危険物

【安否確認が確認できなかった利用者の対応】

- ・事前に登録いただいた連絡先と連絡をとる
- ・福祉部局と連携し関係事業者と連携をとる
- ・上記の方法で連絡がとれなかった場合は職員が訪問する

○事業経過

R2年4月 事業申し込み開始

R2年9月 事業開始

【利用世帯数】

	高齢者	障害者	妊娠期	乳幼児	計
R3. 3 月末	795	59	1	14	869
R4. 3 月末	1068	78	0	23	1169
R4. 12 月末	1253	97	1	31	1382

○契約形態

高崎市と可燃ごみ収集運搬業務契約を締結している3業者と業務契約締結。

収集車両は利用者250名ごとに1台無償貸与

○決算額 (R3 年度)

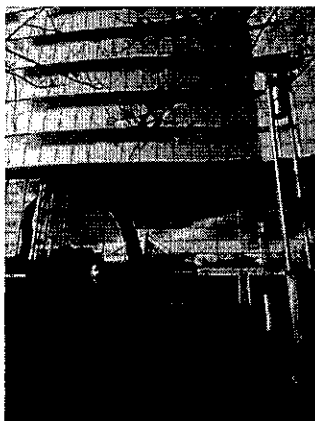
委託料 92,747千円

○課題や今後の展開について

- ・事業開始から日が浅いので積極的な周知を図っている
- ・選考自治体の事例から利用者が一定数に落ち着くと想定していたが現在のところ増加している。R5. 1月現在稼働車両は7台

○その他

- ・1日50軒までの収集。月～金の5日間で250軒
- ・今後、人数も増えていくが今後も続けていく
- ・ごみステーションも増えてきている
- ・周知は、チラシ、パンフレット、市から出すごみの分別の仕方にも載せている
- ・申し込みは、民生委員・ケアマネジャー・親戚からも出ている
- ・視覚障害者、認知症の方はケアマネジャーやわかる人が分別して出す



(4) 埼玉県伊奈町 「書かない窓口」の見学

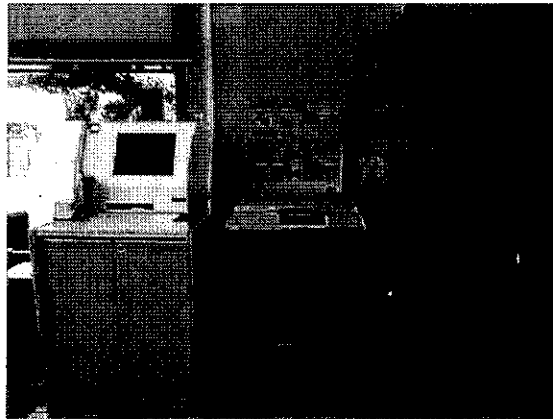
令和4年11月から「書かない窓口」を実施している。

令和4年5月に検討を始め、11月には導入するというスピードだった。

①導入の理由 一度に複数の申請を行う方も多く、長時間、ロビーに滞在する一因にもなっており、新型コロナウイルス感染症対策の観点からも改善が必要であった。また、マイナンバーカードのさらなる普及と実績のある取り組みを導入することで町のデジタル化を加速させるため設置をした。

②費用 1600万円 デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し地方負担1/2と地方創生臨時交付金をあて1割で導入

③導入機器 マイナンバーカードまたは運転免許証を読み取り必要な申請書類を選択するだけで、住所や氏名などの情報が印字される機器を導入した。



6. 感想

<川上>

①木下建工

長野県が中小企業向けの奨学金返還支援制度を始めるにあたり、県内で6社の採用申請をしたうちの1社。若手の社員を確保したいという事情に合致する事業として評価し採用を決めた。すでに勤めている社員には手当などの増額を検討していて、格差を生じさせないように工夫したいと言っていた。また、支援期間の5年が経過したのちに、返済困難にならないような昇給も考えているとしており、支援制度が賃金の上昇の呼び水になっていると感じた。

②道の駅ヘルシーテラス佐久南

5年ほど前にオープンした施設で、高速のインターチェンジを降りてすぐのところにある。デザイン性の優れた外観であり、駐車場もたっぷりあった。中で

は佐久市の事業PRとして北斗の拳マンホールの紹介もしており、地元野菜の販売とともに、地元野菜を食材としたレストランもあった。今後の松伏町の道の駅も将来は高速道路のすぐ近くという立地条件が似ており参考になると感じた。

③高崎市

全国各地で行われている高齢者等のごみ出し支援のなかでも、妊婦や乳幼児を抱えた家庭のごみ出し支援も行うといった特色を持っていて参考になった。子育て家庭の支援はこれから一層大事になる。ごみ出し困難者とは、廃棄物処理の考えだけでなく福祉のメニューとしても成立すると感じた。利用者は全世帯の0.8%程度であり、松伏に置き換えると約100世帯となる。検討できる数字だと感じた。

④伊奈町

書かない窓口の推進として、職員が代筆するというやり方もあるが、これからのデジタル時代にはそぐわない。マイナンバーカードを利用したコンビニ等での証明書交付は全種類対応ではない。そのため役場に来ることが必要で、高齢化の進展などで申請書類の記入に手間取る方も見受けられる中、国の交付金を活用した機械の導入はタイミング的にも素晴らしいと感じた。

<村上>

1. 道の駅「ヘルシーテラス佐久南」見学

高速のI.C.をおりてすぐのところであり、2018年にオープンしたので新しく、木のぬくもりを感じるような施設で中では、地元野菜やお土産品の販売、レストラン、カフェもありました。国の重点道の駅にも選定されています。大変参考になりました。

2. 長野県佐久市 木下建工(株)

長野県の「奨学金返還支援制度導入企業サポート事業」が始まるにあたって、木下建工では、税理士を通して知ったと言っていました。埼玉県においても「奨学金返還支援事業補助金」の周知をひろくしていくべきではないかと思いました。

木下建工は、社員50名、他子会社もあり従業員は若い方が多く平均年齢が30歳前後との事、会社側としては、新規採用者が取りたい、新規社員としてはこの制度があると嬉しい、双方のメリットは大きいと感じました。また、会社がこの制度を導入後現在の従業員との差が出ないように考えていたり、5年後、

支援終了後に返済が困難とならないよう昇給などを考えている。この制度を利用する社員にとってはありがたいと思います。

3. 高崎市ごみ出しSOSについては、高齢者の見守りも兼ねており、離れて暮らす家族からの依頼もあると聞きました。また、妊娠期から乳幼児の世帯も利用でき、利用者もいることから子育て中の方にとっては、とてもありがたい支援だと思いました。松伏町で妊娠期から出産・子育てまでの伴走型相談支援の中に入れられると良いと思いました。

4. 埼玉県伊奈町「書かない窓口」は、マイナンバーカードの普及と更なるデジタル化の推進で導入との事でした。実際、私も高齢者の方が証明書発行時の申請者に戸惑っていたり、書けなかったりというのを見たこともあり、「書かない窓口」の設置は、利用者と対応職員にとっても良いと思いました。費用は1600万円 デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し地方負担 1/2 と地方創生臨時交付金をあて1割で導入した事と昨年、5月に検討し11月に導入となり、スピード感をもった対応が素晴らしいと思いました。

以上

公明党行政視察行程表

日時:令和5年1月31日(火)~2月1日(水)

視察先(内容):①木下建工株式会社(県の制度を活用した奨学金返還支援制度の導入)

視察先(内容):②高崎市(高齢者のゴミ出し支援)

行程スケジュール

日付	時間	場所	摘要
1日目	9:15集合	せんげん台駅東口	トヨタレンタカーせんげん台店 松伏町から自家用車で移動(車は店舗へ預ける)
	9:30出発		
		レンタカー移動	
	12:00	佐久市へ到着	道の駅「ヘルシーテラス佐久南」
		昼食	
	13:30		
	14:00	木下建工株式会社到着	(佐久市下小田切293-5 ☎0267-82-2213)
		研修	県の制度を活用した奨学金返還支援制度の導入
	15:30	木下建工株式会社出発	
2日目		レンタカー移動	
	17:00	宿泊先到着	ホテルルートインコート藤岡
	8:30	宿泊先出発	(藤岡市立石745-1 ☎050-5211-5751)
		レンタカー移動	
	10:00	高崎市役所到着	(高崎市高松町35-1 ☎027-321-1111)
		研修	高齢者のゴミ出し支援
	11:00	高崎市役所出発	
		レンタカー移動(昼食含む)	
	14:00	埼玉県伊奈町役場到着	「書かない窓口」見学
14:30	埼玉県伊奈町役場出発		
15:30	せんげん台東口到着	レンタカー返却、自家用車で帰宅	